

2 地域の概況

- 2-1 土地利用等
- 2-2 交通(モビリティ)の現況
- 2-3 まちの賑わいの現況
- 2-4 情報の現況
- 2-5 その他の現況

2-1 土地利用等

11

(1) 主要な立地施設

- 南大沢地区は、駅前地区に商業施設や生活利便施設、都立大学等が立地しており、駅周辺には、道路や公園等が計画的に整備されている。

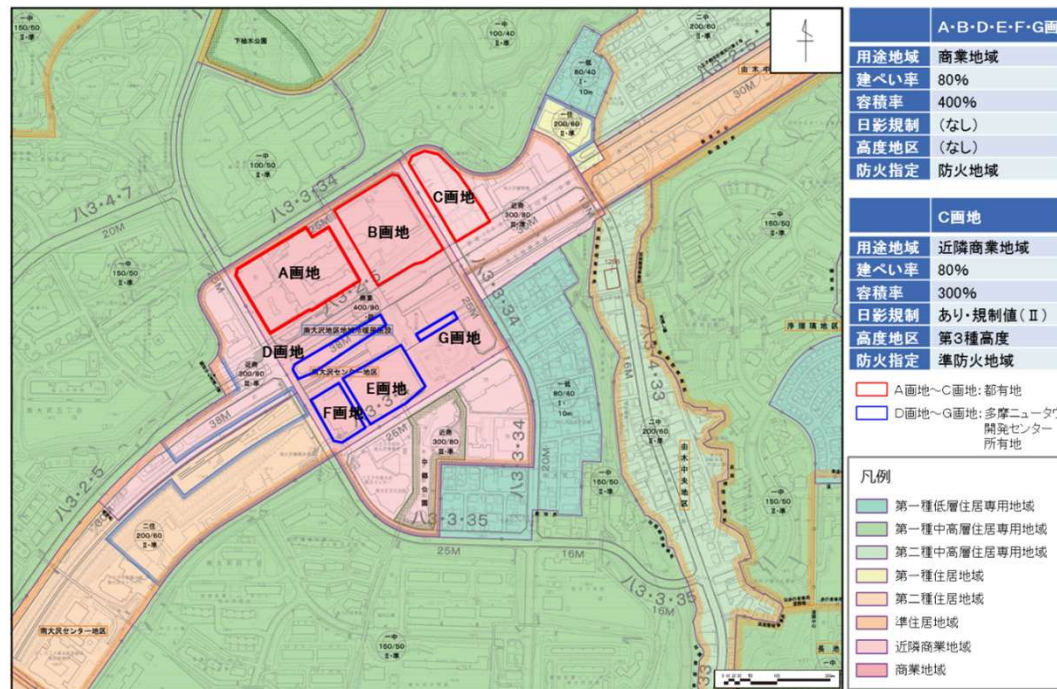


※出典) 南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会「南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会(第1回)」(2019.11.15)を基に作成

(2) 都市計画

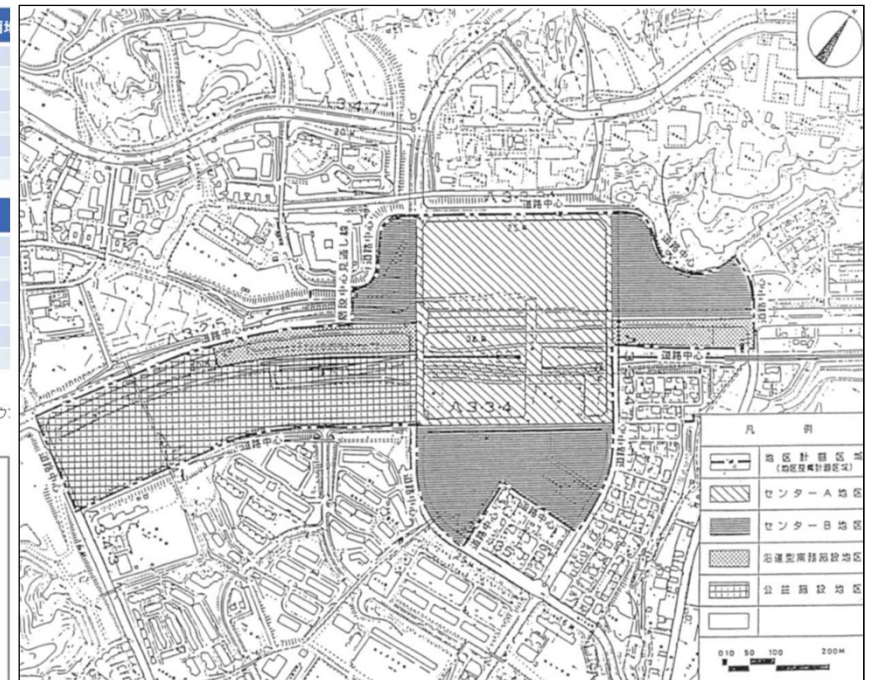
- ・土地利用は、駅を中心に「商業・近隣商業地域」（建ぺい率80%、容積率300・400%）となっている。また、駅の北東・南西方向が「住居地域」、その周辺が「住居専用地域」となっている。
- ・駅周辺は、地区計画があり、計画の目標、土地利用方針、施設・建築物等の整備方針のほか、用途や最低敷地制限、周辺景観との調和などが位置付けられている。

■土地利用状況（用途地域）



出典) 南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会
「南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会（第1回）」（2019.11.15）

■地区計画（南大沢センター地区）



- [センターA地区] : 生活拠点機能及び業務機能の集積
建築物の敷地面積の最低限度：1,000㎡、建築物等の高さの最低限度8m
- [センターB地区] : センター機能の補完、官公庁施設等の立地
建築物の敷地面積の最低限度：1,000㎡
- [沿道型業務施設地区] : 生活関連の商業、業務サービス施設等の立地
建築物の敷地面積の最低限度：300㎡
- [公益施設地区] : 周辺住宅地の環境に配慮した公益・業務・商業施設等の導入
建築物の敷地面積の最低限度：1,000㎡

出典) 八王子市HP「八王子市の地区計画区域」（2019.12）

(3) 公共施設

- 公共施設は、南大沢駅南部に市民センターや事務所等の「複合施設」が、周辺には「小・中学校」をはじめとする様々な施設が立地している。
- 公園・緑地は、駅南側に位置する「中郷公園」のほか、周辺に上柚木公園、富士見台公園、大平公園、長池公園等「地区公園」「近隣公園」「都市緑地」が配置されている。
- 駅に隣接して都立大学・ヤマザキ動物看護大学が、駅から3 km程度の多摩美術大学等がある。

■ 公共施設の立地



出典) 八王子市「八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針」(2019.3)

■ 大学や主要な公園の位置

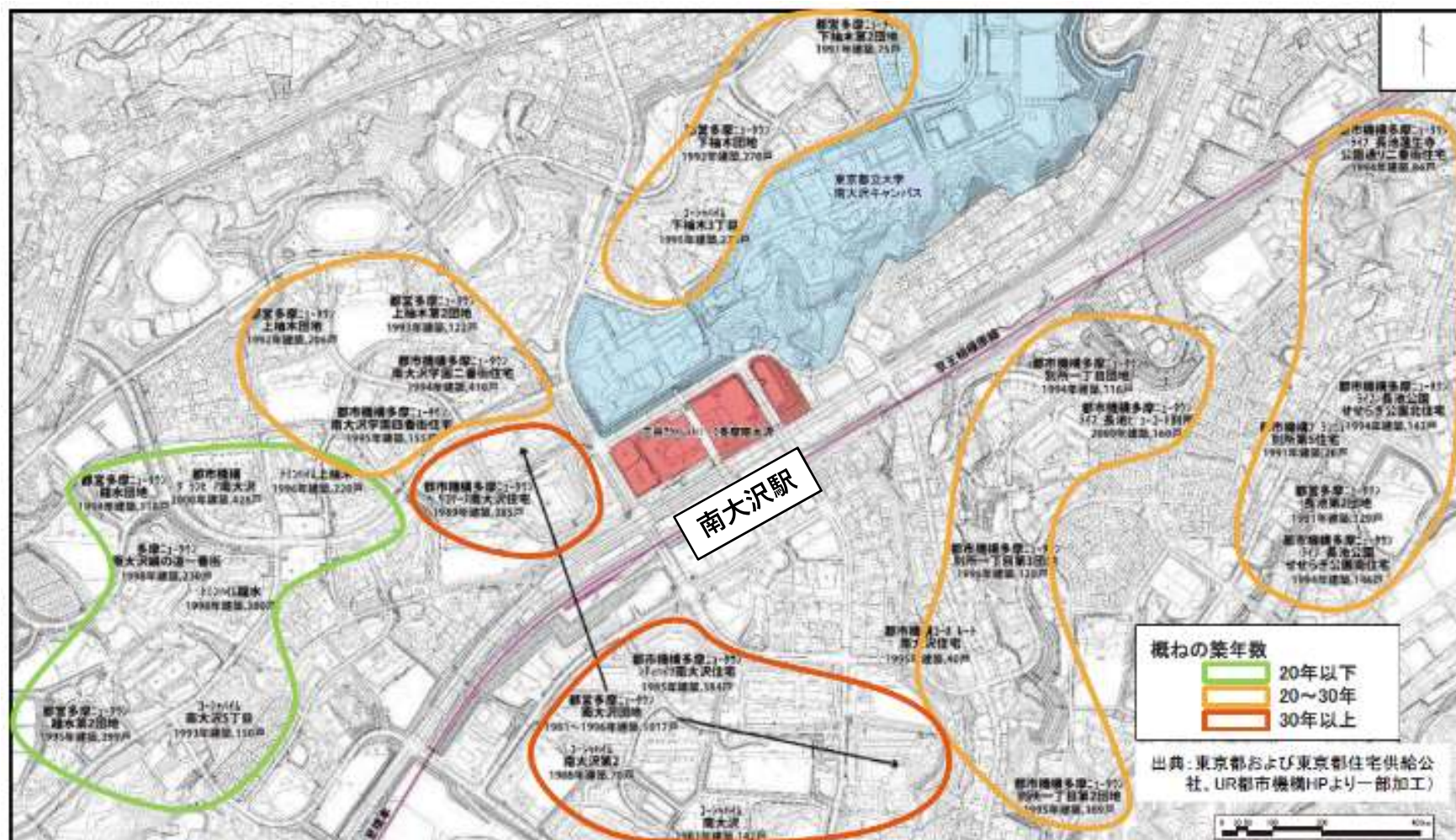


出典) 国土地理院「国土地理院HP 地図・空中写真閲覧サービス」、八王子市「八王子市HP」、東京都公園協会「東京都公園協会HP」を基に作成

(4) 住宅団地

- ・ 駅周辺には、1980年代から2000年代まで段階的に住宅団地の整備が行われている。
- ・ 駅西側や南側では、築年数が30年以上経過している住宅団地もみられる。

■ 住宅地の分布

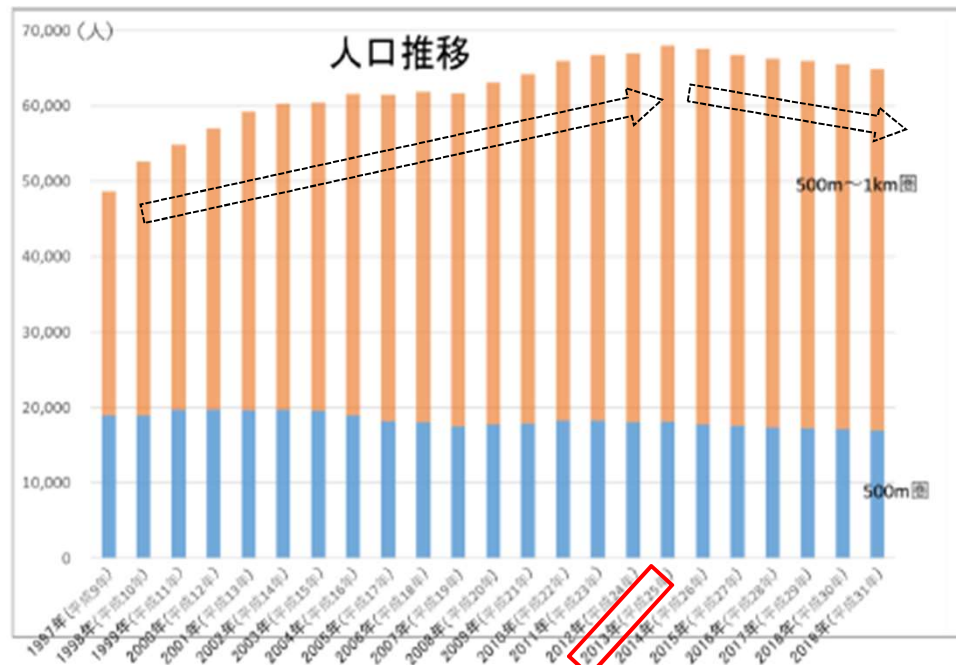


出典) 南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会「南大沢周辺地区まちづくり方針策定等検討委員会 (第1回)」 (2019.11.15)

(5) 人口と高齢化

- 南大沢駅周辺エリアでは2013年以降、人口が減少するとともに高齢化が進展している。
- 特に駅南西部に位置する南大沢3丁目では高齢化率が35%を超える。

南大沢駅周辺 人口推移



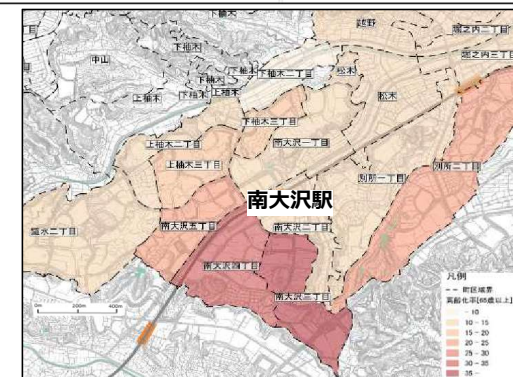
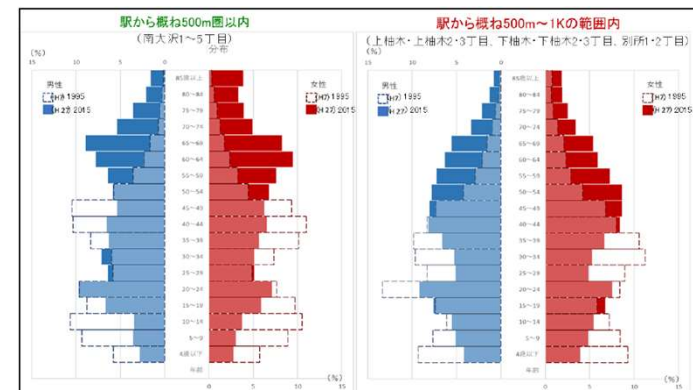
500m圏：南大沢1～5丁目

500m～1K圏：上柚木1～3丁目、下柚木1～3丁目、別所1,2丁目

- ✓ 南大沢駅周辺の人口は1997年以降2019年までの間、概ね増加傾向にあるものの2013年以降は減少している

出典) 東京都「南大沢駅周辺地区まちづくり方針(素案)」(2021.6.3)、
東京都「統計資料(各年度)」を基に作成

南大沢駅周辺 人口の年齢構成及び高齢化率



- ✓ 南大沢駅周辺では高齢化が進行している
- ✓ 高齢化率は特に駅南西部の居住地区が高い数値を示している

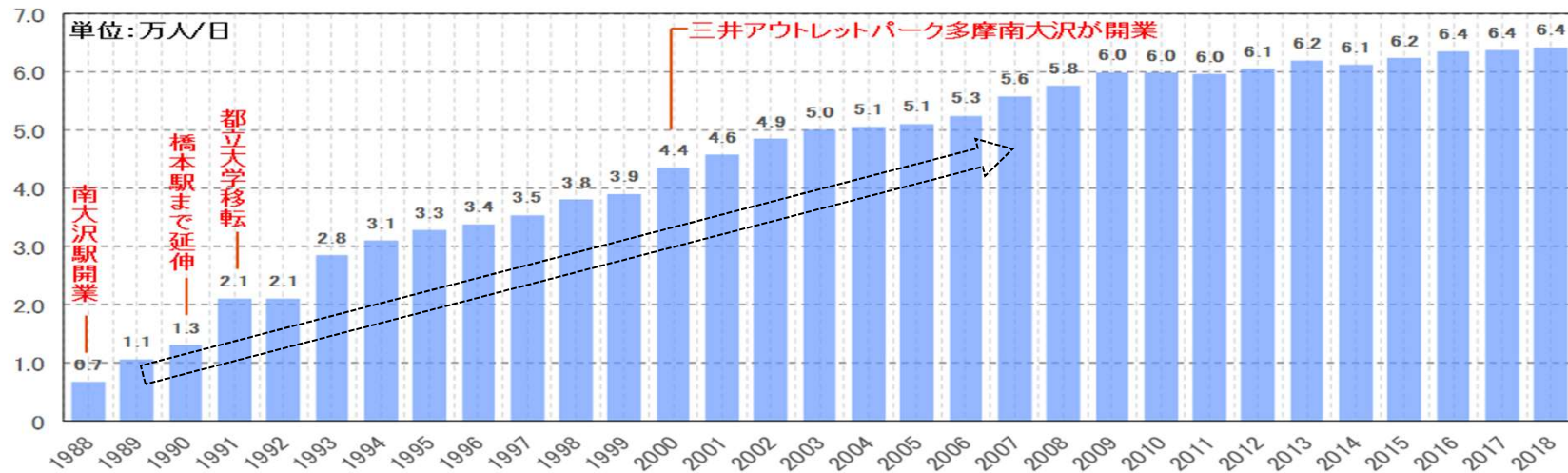
出典) 上：東京都「南大沢駅周辺地区まちづくり方針(素案)」(2021.6.3)、
総務省「国勢調査」を基に作成
下：八王子市「八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針」(2019.3)

2-2 交通(モビリティ)の現況

(1) 鉄道利用

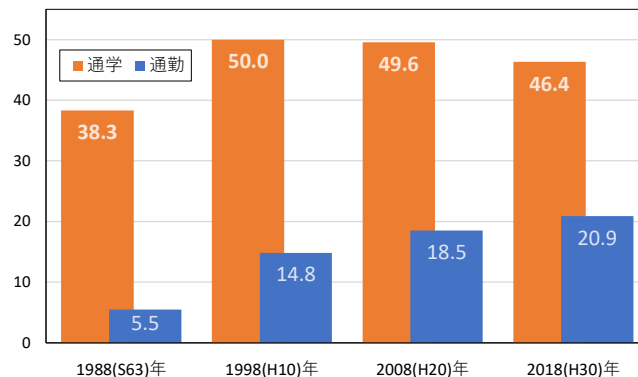
- 南大沢駅の乗降客数は、駅開業以来、年々増加しており、2018年には6.4万人となっている。
- 地区への来訪について、通学は2018年46.4千トリップ、通勤利用は年々増加してきており、2018年に20.9千トリップとなっている。
- 南大沢駅内にはリアルタイムの鉄道運行情報が提供されている。

■ 南大沢駅の乗降客数



■ 通勤、通学目的集中トリップ数の推移 (八王子市東部地域)

(千トリップ)



■ 駅内の情報表示

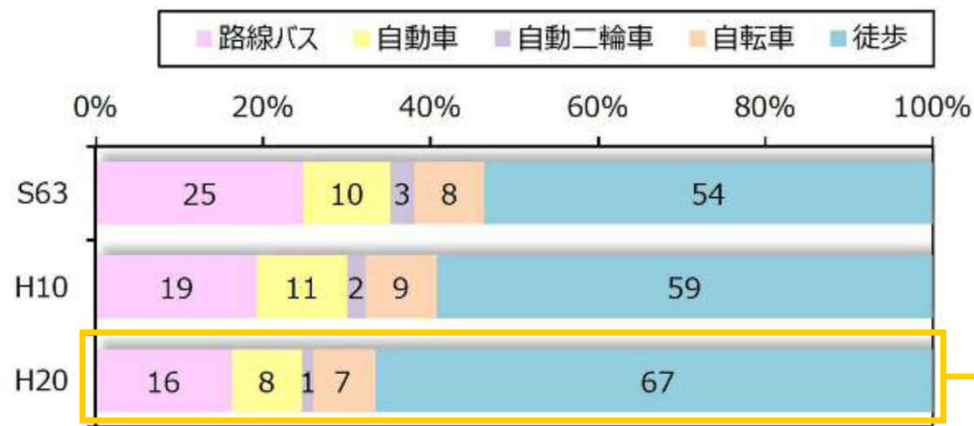


出典) 東京都市圏交通計画協議会「東京都市圏パーソントリップ調査」を基に作成

(2) 駅までの利用交通手段

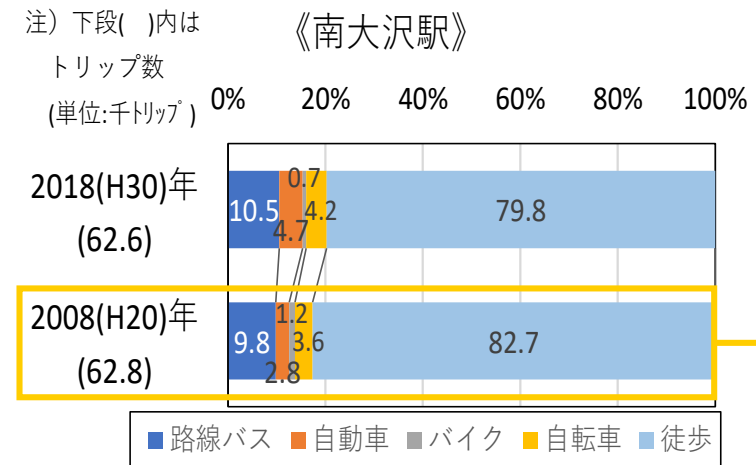
- 八王子市における駅端末交通手段は、バスや自動車が減少する一方、徒歩が増加傾向で7割弱となっている。
- 南大沢駅周辺では、交通手段の8割以上が徒歩で、市全体と比較して高い割合となっている。

八王子市における駅端末交通手段



八王子市ではバスや自動車が減少、徒歩が増加傾向で7割弱となっている。

南大沢駅における駅端末交通手段



南大沢駅周辺では、交通手段の8割以上が徒歩となっている。

(3) 交通機関の乗換

- バス路線は駅北側は朝・日中とも10分未満間隔と高頻度であるが、駅南側は15～30分間隔である。
- バスの案内情報板は交通ターミナル内に整備されているが、リアルタイムの情報案内ではない。

バスルート



駅を発着とする循環路線(駅北側路線)

駅を発着とする循環路線(駅南側路線)

南大沢駅から発着するバス路線
 路線バス：16系統
 空港路線：2系統（成田、羽田）
 運行間隔：駅北側は朝・日中とも10分未満間隔と高頻度であるが、駅南側は15～30分間隔

バス案内状況



バスの案内情報板は交通ターミナル内に整備されているが、リアルタイムの情報案内ではない。

タクシーとの接続状況

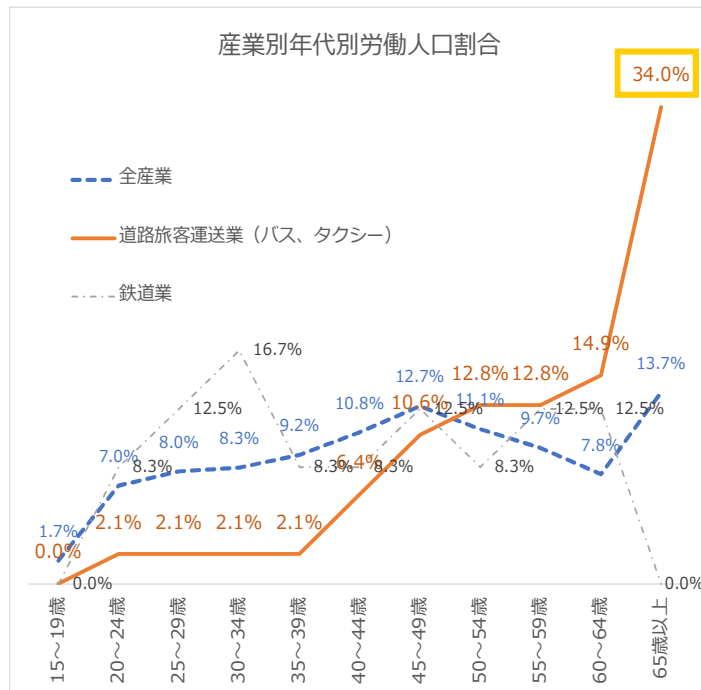


駅前交通ターミナル内にはタクシー乗り場が1か所設置されている。

(4) 地域交通の担い手

- バス・タクシー運転手は年々高齢化が進んでおり、担い手の確保が課題である。

旅客運送業の担い手の年齢構成・推移及び輸送人員の推移

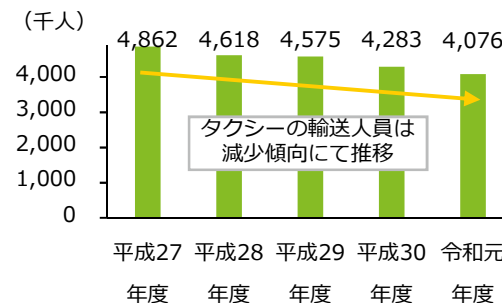


■東京都における産業別平均年齢の推移

	2002年	2017年
タクシー	53.9歳	58.4歳 (+4.5歳)
バス運転手	43.3歳	49.5歳 (+6.2歳)
全産業	39.5歳	42.0歳 (+2.5歳)

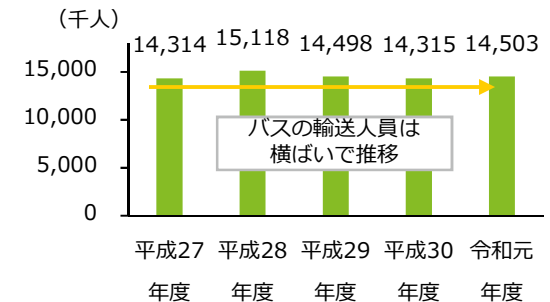
東京都において、旅客運送業（バス、タクシー）は全産業と比較し平均年齢の上昇傾向あり。

■八王子市のタクシー輸送人員の推移



八王子市のタクシー輸送人員は減少傾向にある。

■南大沢のバス輸送人員^{*1}の推移



南大沢のバス輸送人員は横ばいで推移する傾向にある。

東京都において、旅客運送業（バス、タクシー）は従業者の約1/3を高齢者（65歳以上）が占めている。

出典）総務省「労働力調査」（2020.8）

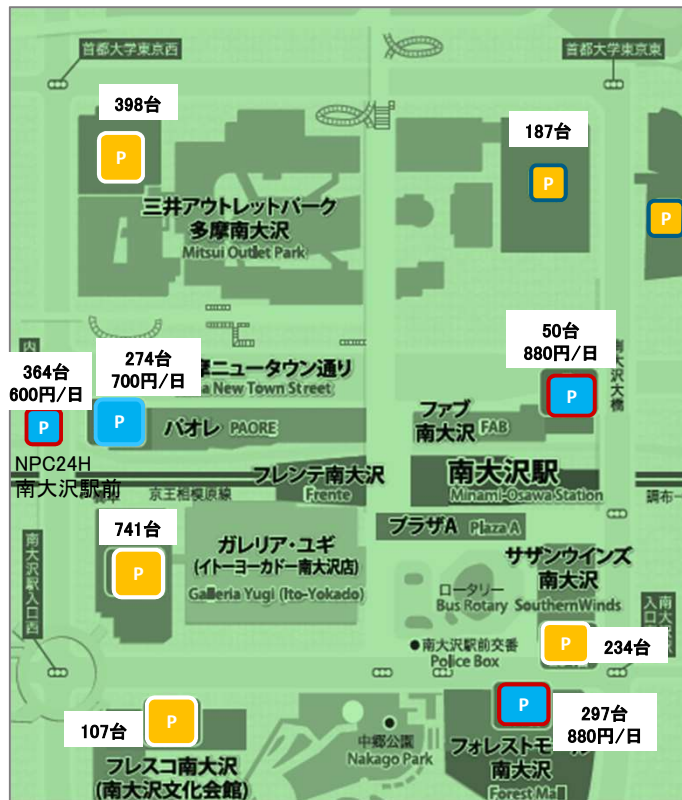
^{*1}：京王バス南（株）、神奈川中央交通（株）の乗客数

出典）一般社団法人東京ハイヤー・タクシー協会「東京のタクシー2020」（2020.6）、東京都「見える化改革報告書バス、都電、日暮里・舎人ライナー」（2018.9.18）、八王子市「八王子市統計（統計番号：107・108）」を基に作成

(5) 駅周辺の駐車場と駐輪場

- 駅周辺では10か所、約2800台規模の駐車場が整備され、このうち1日最大料金を導入しているのは、4駐車場となっている。
- 自転車等駐車場は公営で6か所、その他一部の民間施設でも設置され、定期利用を中心に運用されている。
- 電動シェアサイクルの実験は、八王子駅周辺等で先行実施され、令和3年11月から南大沢駅周辺等でも実施されている。

■ 駅周辺主要駐車場



出典) 多摩ニュータウン開発センター「南大沢グルメマップ」(2021)、各施設ホームページ情報等を基に作成

■ 自転車駐車場



出典) 駅周辺の位置図に(公)自転車駐車場整備センターの自転車駐車場の駐車台数等を追記

■ 八王子市シェアサイクル実証実験

○目的

回遊性向上による地域や観光の活性化や公共交通の補完、環境負荷低減等

○実施期間

令和2年(2020年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

○実施地域・サイクルポートの設置場所

八王子駅・西八王子駅・高尾駅・八王子みなみ野駅・南大沢駅・堀之内駅周辺地域

※南大沢駅・堀之内駅周辺は、本協議会で実証実験を実施

○利用料金

利用開始30分130円、延長100円/15分、1,800円/12時間

○備考

シェアサイクル実証実験の実施に関し、八王子市とOpenStreet株式会社が協定を締結し実施

出典) 八王子市「八王子市都市計画部」を基に作成

(6) 歩行者ネットワーク

- ・ 駅周辺は高低差のある丘陵地となっており、徒歩や自転車での移動は、高齢者や身障者等にとって負担が大きい状況
- ・ 住宅団地から地区内幹線道路沿いのバス停まで、階段やスロープを経由した高低差を伴う移動区間も見られる。
- ・ 駅周辺の歩行者ネットワークは、施設内を移動する経路も存在する。



バス停と住宅団地までの
車いす用スロープ、最短経路の階段
(上柚木3丁目)



住宅団地方面から
駅方面への歩行者・自転車道
(南大沢5丁目)



住宅団地内の
歩行者・自転車道
(南大沢4丁目)

■南大沢駅周辺の概況と歩行者ネットワーク

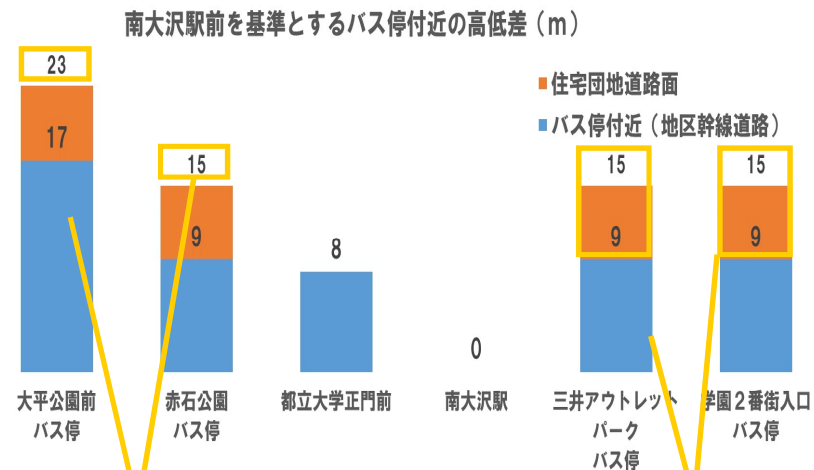


施設内経由の
歩行者経路

(7) 地区の交通特性

- 南大沢駅前からバス停まで道路面に対して10～20メートルの高低差が生じている。
- 住宅エリアから南大沢駅までの移動の平均所要時間は約10分以上となっている。

南大沢駅からの高低差



出典) GoogleEarth「標高データ」を基に作成

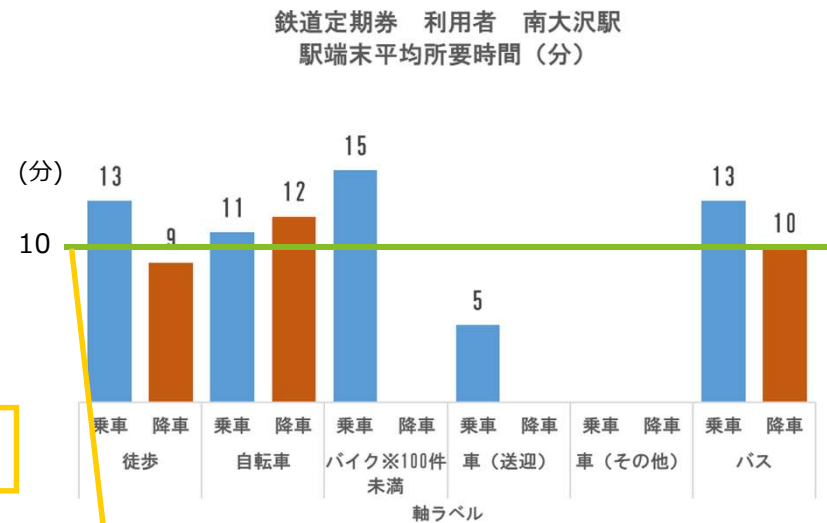
南大沢駅からの高低差は
十数メートル～二十数メートル

バス停から団地付近まで
約6mの高低差



出典) GoogleEarth「標高データ」
を基に作成

鉄道利用者 (定期券利用者) 平均所要時間 【南大沢駅】



南大沢駅までは到着まで約10分以上

出典) 国土交通省「平成27年大都市交通センサス」(2015)

2-3 まちの賑わいの現況

(1) 駅周辺の商業施設

- 南大沢駅前地区には、駅前に商圈が集中している。三井アウトレットパーク多摩南大沢やイトーヨーカドー南大沢店等の多数の商業店舗が立地し、コンパクトな空間に駅前商業集積を形成している。
- 一部のビルには空き店舗スペースもみられる。
- 休日等においては、来客駐車場の入庫待ちが発生する場合もある。

- 駅北側には、エリア随一の規模を誇る三井アウトレットパーク多摩南大沢（延床面積28,700㎡、店舗数118）が立地しており、広域から集客している。
- ガレリア・ユギには、イトーヨーカドー南大沢店が入居し（その他にもノジマ南大沢店等入居）、周辺地域の日常買い物を支えている。
- その他にも、南大沢駅前には、fab南大沢（TOHOシネマズ等入居）、パオレ南大沢、フレンテ南大沢（新・旧館）、サザンウインズ南大沢、フォレストモール南大沢等、多彩な商業・娯楽、飲食施設等が立地している。
- 一部のビルには空き店舗スペースも見られる。
- 各施設・ビルに駐車場が整備されている。

■ 商業施設や駐車場の立地

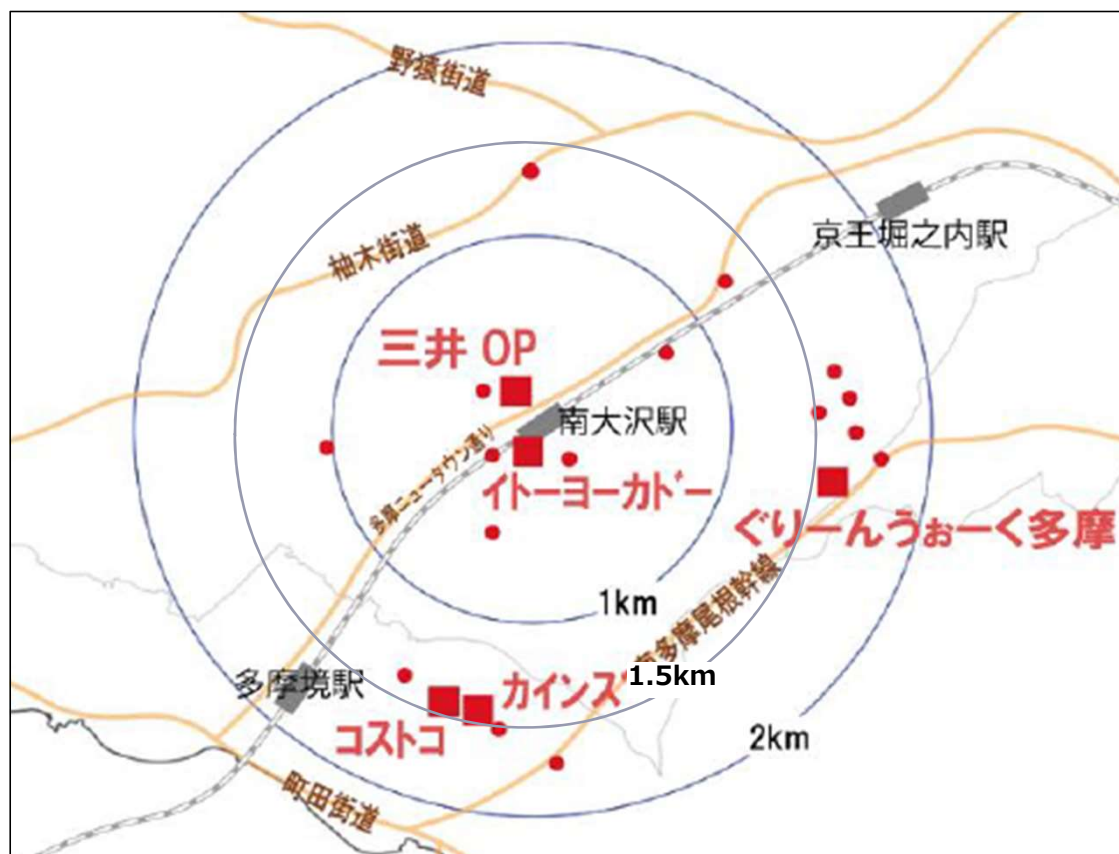


出典) 東京都「南大沢駅周辺地区まちづくり方針（素案）2021.6.3」（2021.6.3）を基に作成

(2) 近隣の商業施設

- 南大沢駅周辺の2 km圏内にも商業店舗が複数立地しており、特に南部の幹線道路北側には大型の商業施設がみられる。

■ 駅周辺の商業施設



出典) 週刊東洋経済「全国大型小売店総覧2019」(2019)を基に作成

(3) その他集客施設（公園・緑地等）

- 南大沢駅から徒歩圏内となるエリアに、レクリエーション機能を持つ公園・緑地が分布している。

八王子市ウォーキングマップコース



出典) 八王子市「八王子市HP ウォーキングマップ」

主要な公園の位置

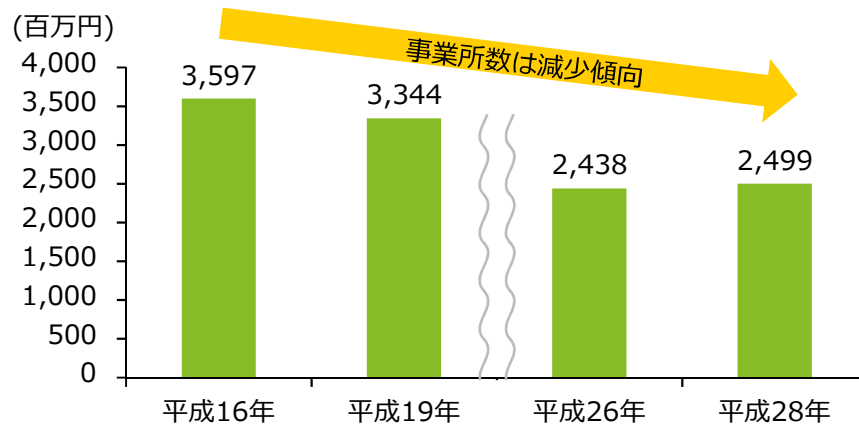


出典) 国土地理院「国土地理院HP 地図・空中写真閲覧サービス」、八王子市「八王子市HP」、東京都公園協会「東京都公園協会HP」を基に作成

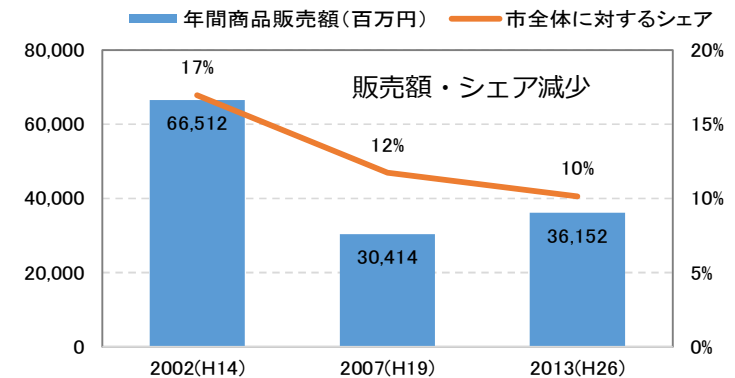
(4) 小売業等の状況

- 八王子市の小売業は事業所数が減少傾向にあるが、年間商品販売額はほぼ同額で推移していることから、特定の小売店へ売上が集中し、小規模店が閉店していることが考えられる。

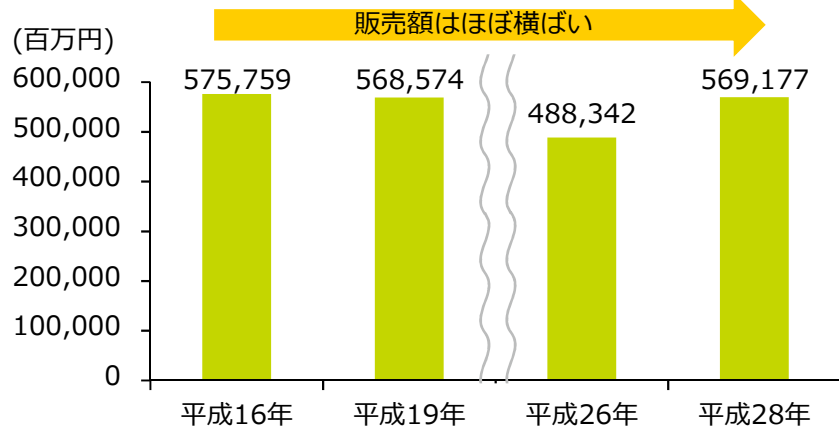
八王子市小売業事業所数の推移



小売業年間販売額



八王子市年間商品販売額の推移



居住区における近隣センターの衰退

近隣センター（昭和46年開業）

- ✓ 初期に開業した近隣センターで、現在は人通りが少なく、店舗も閉まっている所が多い。



出典) 経済産業省「商業統計調査報告」、統計局「経済センサス-活動調査報告」を基に作成※「商業統計調査報告」は平成16・19年は6月1日現在、平成26年は7月1日現在※「経済センサス-活動調査報告」は平成28年6月1日現在

出典) 経済産業省「商業統計 商業集積地区別集計」を基に作成
※南大沢駅周辺のH19.H26にはラフェット多摩南大沢を含む
※商業統計はH26を最後に廃止

～トピックス(1)～

移動販売車サービスの展開

高低差が大きい南大沢エリアにおいて、複数の移動販売車サービスが展開している。

① 京王電鉄株式会社による取組



✓ 自社での移動販売サービス展開

- 2013年より、家事代行サービスの一環として市内での2tトラックによる750品目の移動販売サービスを開始
- 京王ストアで取り扱う生鮮食品や食料品、日用品を店頭と原則同価格で販売
- 2018年より、軽自動車による250品目の移動販売サービスを開始

出典) 八王子市産業振興部産業政策課「移動販売開始」

② イトーヨーカドー南大沢における取組



✓ 移動スーパー事業会社との提携によるサービス展開

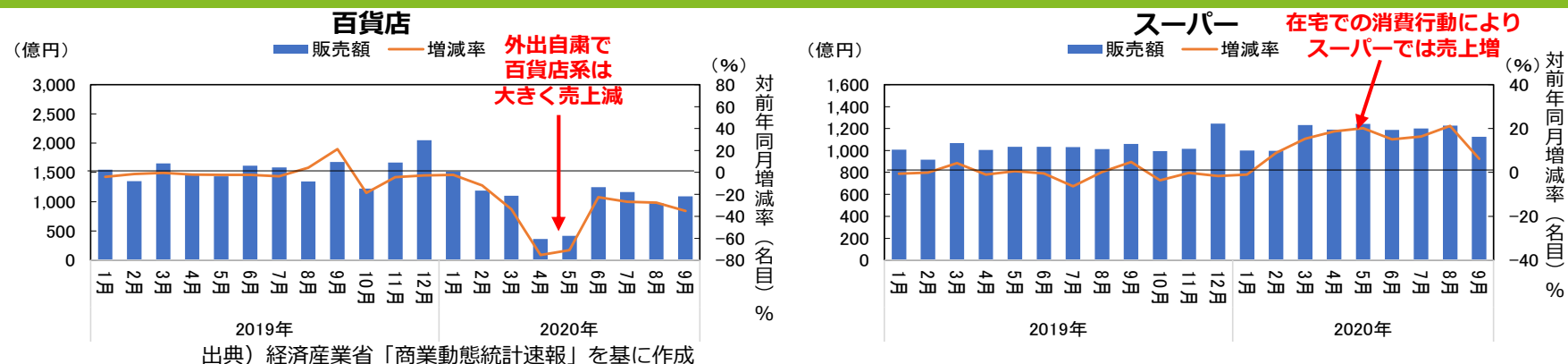
- 2020年より、(株)とくし丸と提携し、400品目を搭載する軽トラックで移動販売を行う個人事業主オーナーへの販売委託を開始
- 採算確保が難しい移動販売サービスにおいて、小売店、事業オーナー、運営企業の分業によるサービス提供で高い採算性を実現

出典) 八王子経済新聞「イトーヨーカドー、南大沢店で移動スーパー開始
とくし丸と連携、買い物難民支援」(2020.5.1)

(5) 小売業店舗・EC事業の動向

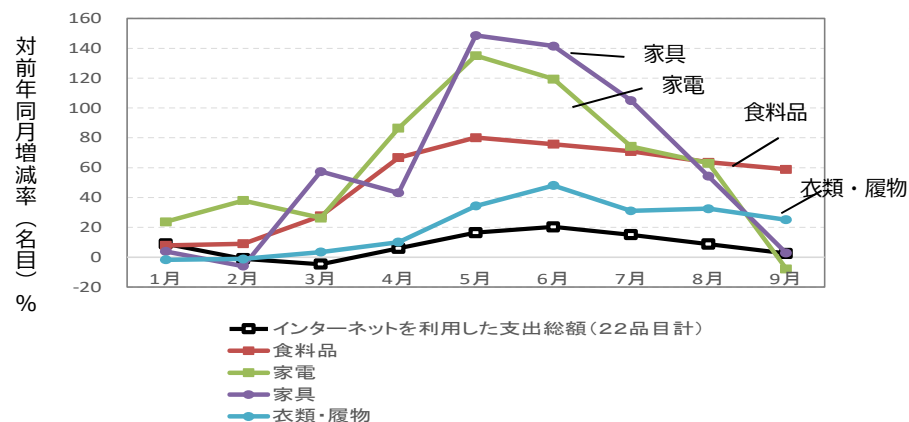
- ・ コロナ禍による外出自粛の影響を受け、百貨店では販売額が大きく減少する時期もみられる一方、在宅での消費行動により、食料品等を扱うスーパーでは販売額が増大している。
- ・ ステイホーム期間に高まったインターネット購入については、食料品や衣料品分野では継続的なニーズの高まりがみられる。
- ・ EC利用増による宅配需要拡大でラストワンマイルの配送負荷が高まっている。

小売業の動向（東京都）



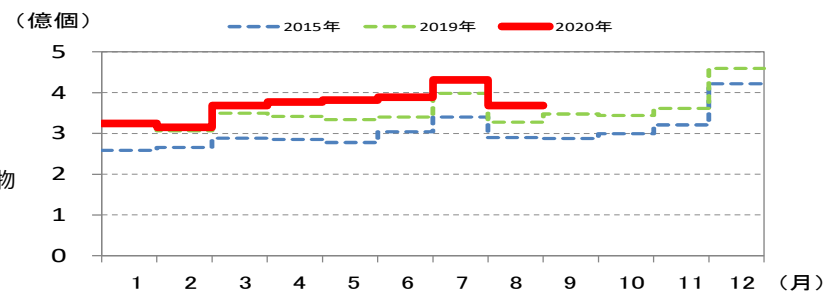
インターネットを利用した購買実績

■ インターネットを利用した支出の増加



出典) 経済産業省「商業動態調査」を基に作成
※対象22品目の増加率の高い主な品目を図示

■ 宅配貨物の取扱個数の推移



出典) 国土交通省「トラック輸送情報報告書」を基に作成

(6) イベント開催

- 南大沢駅前通りの歩行者空間を活用して、「『元気な街』南大沢協力の会」や各種イベントの実行委員会が中心となり、多数のイベントが開催されている。

南大沢駅周辺におけるにぎわい創出に向けた取り組み状況

■南大沢駅周辺でのイベント



■八王子市ウォーキングマップコース



■マルシェ夏祭り

主催：マルシェ実行委員会

後援：「元気な街」南大沢協力の会、
八王子市、八王子市教育委員会



出典) 多摩ニュータウン開発センター「南大沢グルメマップ」(2021)、八王子市「八王子市HP ウォーキングマップ」、マルシェ実行委員会「南大沢マルシェ夏祭りチラシ」(2021.7)

2-4 情報の現況

(1) 混雑や動態情報の提供

- 携帯電話の基地局情報やスマートフォンアプリの利用情報等を匿名化し、移動情報や属性情報を基にした観光動態の解析等に利用されている。

■メッシュ別の人の混雑状況公開例（携帯基地局情報）



出典) ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計HP」

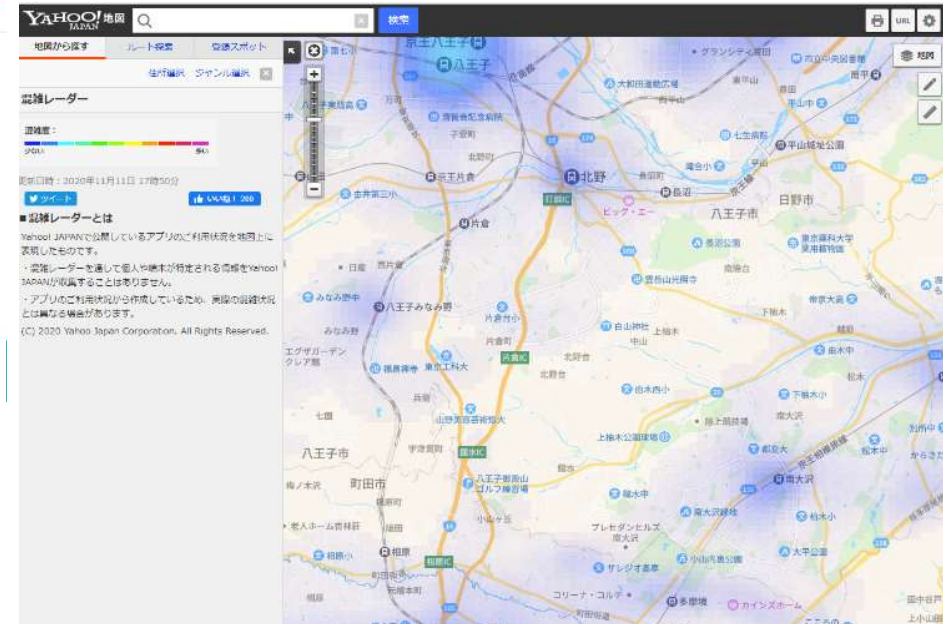
■位置情報を用いた観光動態分析のイメージ

■市町村間周遊分析



出典) KDDI「KDDI HP」

■ヒートマップによる混雑状況公開例 (スマートフォンアプリ利用状況情報)



出典) Yahoo「混雑レーダーHP」

(2) 鉄道、バス情報の提供

- 京王電鉄では、スマートフォンのアプリを活用し、運行電車別の混雑状況を予測し、公開している。
- 京王バスでは、駅前バスターミナルやバス停において、案内板等により路線や時刻の情報を提供しているほか、WEB等によりバス接近情報を公開している。

■ 鉄道内の混雑



※混雑度表示は株式会社ナビタイムジャパンのサービスを利用。リアルタイムの表示ではなく、予測データをもとに、各電車の停車駅ごとの混雑度を見る化したもの

出典）京王電鉄「京王電鉄HP」

■ 駅前バスターミナル案内表示



■ 各バス停の時刻表（駅前）



■ 各バス停の時刻表（複数系統発着）



一つのバス停に8系統の情報が掲載されている。

■ バス接近情報



出典）京王バス「バスナビHP」

各バス停にQRコードを掲載しており、スマートフォンでバス接近情報をリアルタイムに確認できる。

出典）京王電鉄広報公式 ツイート（2021.4.20）



(3) 交通情報のオープン化や統合

- 都営交通では都営バス、鉄軌道3種においてリアルタイムデータを含めた各種の情報をオープンデータとして提供している。
- 京王電鉄では、2021年1月からMaaSによる実証実験を予定する中、移動データの活用として交通と商業施設との連携、観光・レジャーとの連携を予定している。

■ リアルタイムデータのオープンデータ

交通種類	提供情報
都営バス	- 時刻表等 - バスロケーション(現在地)情報
鉄道 - 都営地下鉄 - 東京さくらトラム(都電荒川線)	- 列車・駅時刻表等 - 運行情報(遅延等) - 在線位置情報
- 日暮里 - 舎人ライナー	- 列車・駅時刻表等 - 運行情報(遅延等)

■ MaaSにおける情報活用（実証実験の全体像）



(4) 店舗・各施設情報の提供

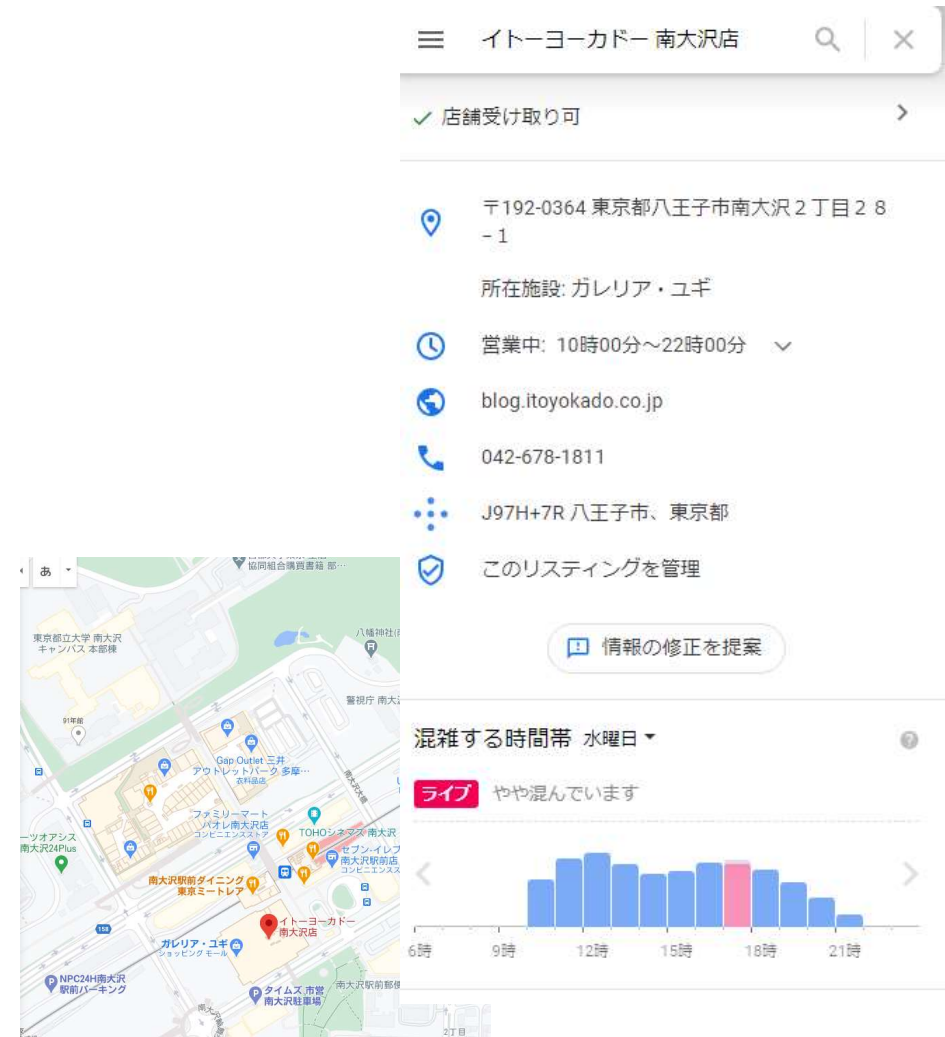
- ・ 駅周辺の幾つかの店舗では、民間サービスを活用して、日時別の混雑情報を公開している例も見られる。
- ・ また、地図検索サービスを活用した時間帯別の混雑状況を公開している例も見られる。

■ 南大沢駅周辺施設内の混雑状況



出典) Unerry「お買い物混雑マップ」

■ 地図検索サービス独自の時間帯別の混雑情報



出典) Google「GoogleMap」

(5) コミュニティサイト

- 八王子市が主導となりコミュニティサイト（はちコミねっと）を立ち上げ、「こども」をはじめ13分野のコミュニティの情報を公開している。

八王子市のコミュニティサイト



約450団体を掲載中

コミュニティのカテゴリ

- | | |
|-----------|-----------|
| ① 健康福祉 | ⑧ こども |
| ② 文化・スポーツ | ⑨ 情報・科学技術 |
| ③ 観光・地域振興 | ⑩ 経済 |
| ④ 環境 | ⑪ NPO支援 |
| ⑤ 防災安全 | ⑫ 町会・自治体 |
| ⑥ 人権・平和 | ⑬ その他 |
| ⑦ 国際 | |

■ 「こども」のコミュニティ例



■ 「健康・福祉」のコミュニティ例



出典) 八王子市「はちコミねっと」

(6) 5G等の通信インフラ①

- 南大沢駅周辺では、都立大学を除き5Gアンテナは設置されていないが、通信事業者が中心となり、アンテナの設置を進めており、都心部を中心に5G利用エリアが徐々に拡大している。
- 西新宿エリアでは、5Gのアンテナを搭載したスマートポールを先行整備している。

■ 5Gアンテナ搭載のスマートポール設置場所（R4.3末）〈西新宿エリア〉



(7) 5G等の通信インフラ②

- 5Gの低遅延、高容量通信を用いた遠隔監視による自動運転タクシーの実証走行、MR体験デモ等が実施されている。
- 5Gを用いることで遠隔地からの鮮明な画像に基づく診療の実証が進んでいる。

■ 5Gを活用した自動運転実証実験



出典) KDDI「KDDI HP」

■ MR体験

5Gの通信を用い仮想世界と現実世界の情報を組み合わせて両者を融合させるMR(Mixed Reality/複合現実)を実証



出典) 東京都「東京都戦略政策情報推進本部」(2020.8)

■ 5Gを活用した高度遠隔移動診療（和歌山での実証例）



出典) 総務省「情報通信白書」(2020.8)

(8) ローカル5Gの整備

- 現在、都立大学においては、ローカル5Gが整備されるとともに、次世代AI・IoTロボティクス等の先端分野において社会実装が期待される研究が始まっている。

東京都立大学におけるローカル5Gの各種取組内容

ローカル5G基地局（アンテナ）を設置

28GHz帯及び4.7GHz帯（下記参照）それぞれの電波特性を組み合わせ、南大沢・日野キャンパスの広範囲を効率的にカバーします。

1 南大沢キャンパスにおける電波カバーエリア（イメージ）



ローカル5G環境を活用した研究・ローカル5G環境の提供について

- 令和3年1月から、ローカル5G環境を活用した最先端研究を開始
 - 社会実装型研究
 - ✓ 新たなライフスタイルの提案や社会的・公共的価値の創造を通じて都民生活の質の向上をもたらすなど、Society 5.0の実現につながる応用的研究であって、社会実装が期待される研究
 - 挑戦型研究
 - ✓ 企業が手を出しにくい将来の課題解決に資するチャレンジングな基礎的研究であって、科学技術の発展や変革をもたらすイノベーションの核となり得る研究
- 令和3年8月から、ローカル5G環境活用実証フィールド提供事業を開始
 - ローカル5G環境を民間企業や研究機関に提供し、新たなサービスの社会実装をサポートする取組

【参考】

スマート東京実施戦略

【ローカル5G環境の整備】

- 東京都立大学のキャンパス（南大沢、日野）にローカル5G環境の整備（アンテナ設置、基地局整備等）を行うとともに、電波暗室等の研究環境の整備に着手

【5G環境を活用した研究の開始】

- 5G環境を活用し、社会実装に資する研究を強力に推進
- 高度通信社会における課題解決型研究や次世代AI・IoT・ロボティクス等の先端分野において社会実装が期待される研究について選定を行い研究を開始
- 都各局や民間企業との実証実験や共同研究に向けた検討を実施等

出典）東京都「東京都立大学において、ローカル5G事業を開始」（2020.12.25）、
東京都「東京都立大学において、ローカル5G環境活用実証フィールド提供事業の公募を開始」（2021.8.1）、東京都「スマート東京実施戦略」

(9) オープンデータ

- 東京都は14分野の公共データを一元的に検索・ダウンロード可能なカタログサイトを公開し、オープンデータの活用を推進している。
- 八王子市は保有している15分野の公共データを二次利用可能なルールで公開しており活用拡大の余地がある。

東京都のオープンデータ

1. 防災・災害計画関連
2. 治安関連
3. まちづくり関連
4. 人口減少・少子高齢化関連
5. 医療・福祉関連
6. 生活関連
7. 税金関連
8. 観光関連
9. オリンピック・パラリンピック関連
10. 芸術文化関連
11. 産業雇用創出関連
12. 環境関連
13. 交通情報関連
14. その他

八王子市のオープンデータ

1. 教育関連
2. 画像
3. 統計八王子関連
4. 人口関連
5. まちづくり関連
6. インフラ関連
7. 防災関連
8. 防犯関連
9. 交通関連
10. 子育て関連
11. 市政（組織・議会等）関連
12. 経済関連
13. 環境関連
14. 保健衛生関連
15. 福祉関連

東京都のオープンデータに関するポリシー

本サイトに存在する著作物の著作権は、「注」があるものを除いて、クリエイティブ・コモンズ・ライセンス表示 4.0 国際のもとでライセンスされています。

従って、コンテンツは、本利用規約以外の別の利用ルールが個別に適用されるコンテンツを除き、**どなたでも本利用規約に従って複製、公衆送信、翻訳・変形等の翻案等、自由に利用できます。商用利用も可能です。**

八王子市のオープンデータに関するポリシー

行政が保有している公共データ（以下、「データ」と言います。）を**二次利用可能なルールで公開し**、市民や企業等が自由に編集、加工など、利活用できる取組であり、その効果として、市民生活の利便性向上や新たなビジネスの創出等が期待されるものです。

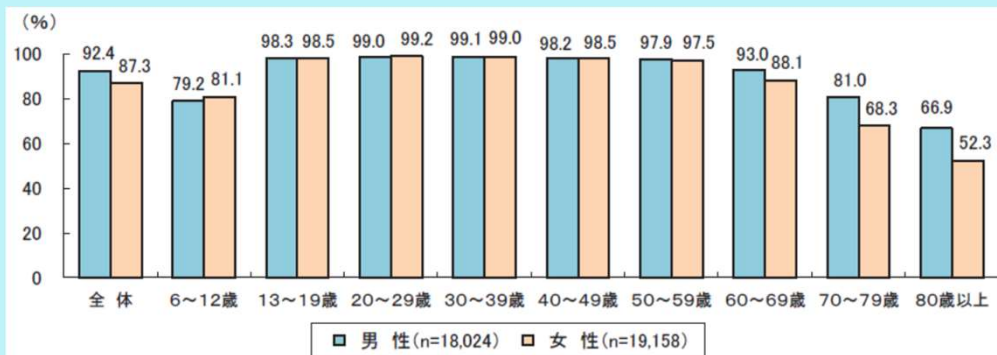
～トピックス（2）～

高齢化とインターネット利用

- インターネットの利用割合は、他年代に比べ70歳以上で低下する。
- 多くの年齢層でインターネットの利用機器はスマートフォンの割合が最も高いが、70歳以上については自宅等での利用が見込まれるパソコン利用が他機器より多い。

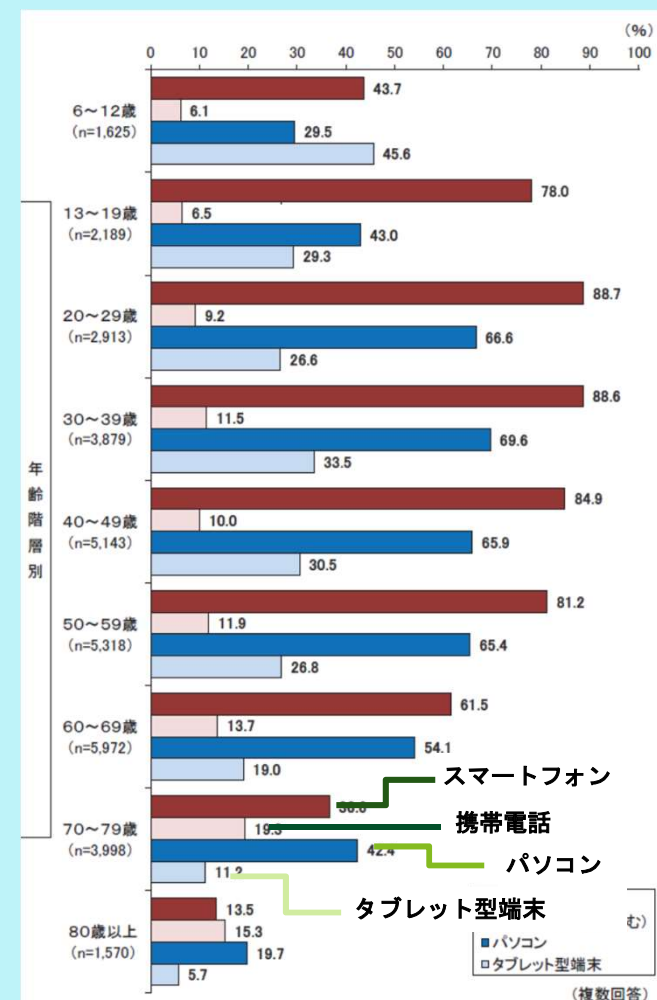
■年齢階層別のインターネット利用割合（全国調査）

✓ 高年齢層でのインターネット利用割合は他世代より70歳以上かつ女性で低い



出典）総務省「令和元年通信利用動向調査報告書」（2020.5）

■年齢階層別の主なインターネット利用機器



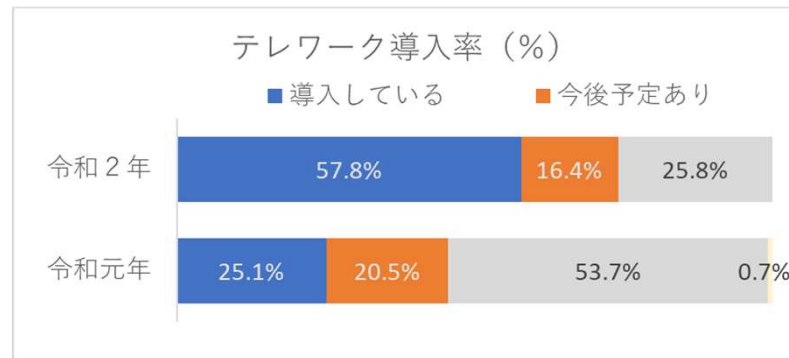
出典）総務省「令和元年通信利用動向調査報告書」（2020.5）

2-5 その他の現況

(1) 新たな働き方と国際化

- ・ コロナ禍の影響により、本来の通勤先以外で業務を行うテレワークが増加している。
- ・ テレワーク時において利用可能なサテライトオフィスやシェアオフィスは、南大沢では2軒立地している。
- ・ 東京都立大学の留学生数は、コロナ前までは増加傾向にあったが、コロナ禍の2年間は減少傾向となっている。

■テレワークの導入

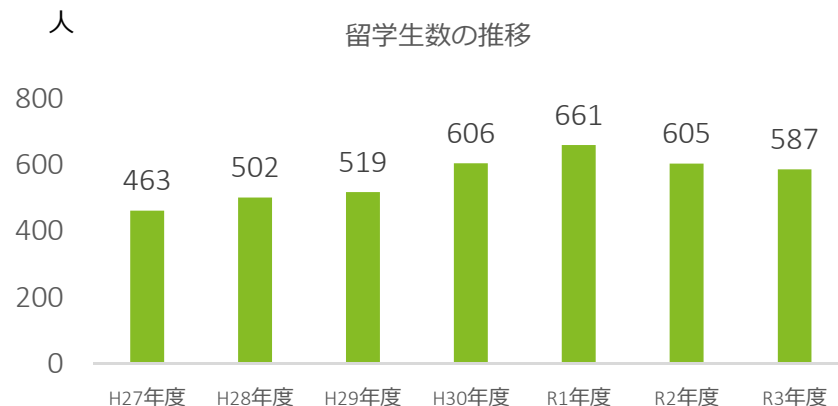


都内に所在する従業員数が30人以上の企業10,000社

- ・ 令和2年 令和2年6月実施 回収率20.3% (回答数2,034社)
- ・ 令和元年 令和元年7月実施 回収率20.3% (回答数2,068社)

出典) 東京都産業労働局「テレワーク導入実態調査」を基に作成

■東京都立大学の留学生数



出典) 東京都立大学「東京都立大学HP」を基に作成

■南大沢のサテライトオフィス

TiNK Desk 多摩南大沢駅前

<場所>

- ・ イトーヨーカドー
南大沢店
(ガレリア・ユギ)

<利用形態>

- ・ 個人利用可



ワークスタイリングSOLO 三井アウトレットパーク多摩南大沢店

<場所>

- ・ 三井アウトレット
パーク多摩南大沢店

<利用形態>

- ・ 法人単位で契約



出典) 多摩ニュータウン開発センター「多摩ニュータウン開発センターHP」、

WORK STYLING「WORK STYLING HP」

(2) 3Dデジタルマップ

- 3Dデジタルマップと都市活動の各種ビッグデータ（人流・交通状況・防災情報等）と合わせ、情報の可視化やシミュレーション等により、防災情報の高度化や次世代モビリティとの連携サービスを提供している。

■ 3Dデジタルマップ

<3Dデジタルマップのイメージ>



<ユースケースのイメージ>



出典) 東京都「スマート東京実施戦略～令和3年度の取組～」(2021.3)

■ 南大沢駅周辺の3Dデジタルマップ



出典) 東京都「デジタルツイン実現プロジェクト」(東京都デジタルツイン3Dビューア(β版)を一部加工)

(3) 低炭素なまちづくり

- CO₂排出量の増加に伴い、異常気象等の気候変動影響が地球規模で増大している。
- 世界が気候危機に直面する今、東京もエネルギー・資源の利用に大きな影響力を持つ責務として、2050年までに、気温上昇を1.5℃に抑える「世界のCO₂排出実質ゼロに貢献する『ゼロエミッション東京』の実現」を目指す。

■気候危機の一層の深刻化

○ 気候変動などによる災害の数は、

2021年8月のWMO（世界気象機関）の報告によると直近50年間で5倍

○ 世界各国において、毎年のように熱波や山火事、洪水や台風、豪雨等、記録的な自然災害が発生。気候変動の影響は人々の身近な生活領域にまで及ぶ。



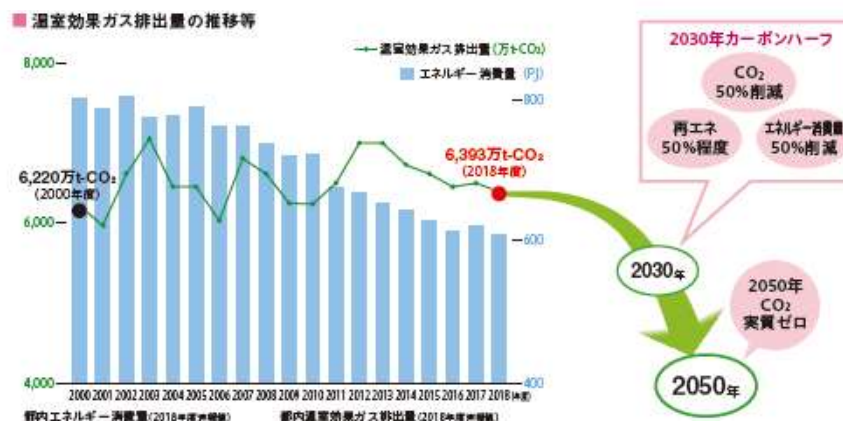
出典）東京都「2030年カーボンハーフに向けた取組の加速」（2022.2）

■2030年カーボンハーフに向けた主要目標

- ゼロエミッションビル等の拡大
都内温室効果ガス排出量(2000年比)
0.2%減(2019年度速報値) → 50%削減(2030年)
- 再生可能エネルギーの基幹エネルギー化
再生可能エネルギーによる電力利用割合
17.3%(2019年度) → 50%程度(2030年)
- 水素エネルギーの利用拡大
水素ステーションの整備
22か所(2020年度) → 150か所(2030年)
- ゼロエミッションビークル（略称：ZEV）の普及促進
乗用車新車販売ZEV割合
2.3%(2020年度) → 50%(2030年度)

■2030年に向けた社会変革のビジョン「カーボンハーフスタイル」

○ 2050年実質ゼロに向けては、今後10年間の行動が極めて重要との認識の下、東京都は、2030年までに都内温室効果ガス排出量を50%削減（2000年比）する「カーボンハーフ」を目指す。



出典）東京都「ゼロエミッション東京戦略2020Update&Report」（2021.3）

(4) 防災と情報

- ・ 災害時、救援物資の配送や被災状況の確認の先端技術の適用による実証を行う。
- ・ 緊急地震速報、津波警報等、携帯電話等に配信される緊急速報メール等で、国から住民まで瞬時に伝達する。

■ 台風など被害時の輸送や被災状況把握

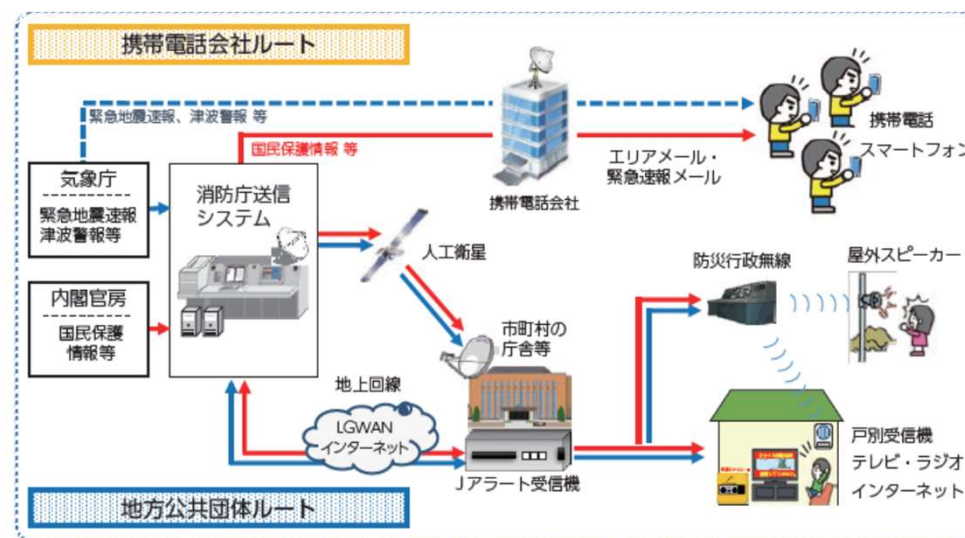
災害後の通行困難時等にドローンによる救援物資の輸送等の実証。



出典) 東京都「東京都災害対策本部」(2019.10)

■ Jアラート (全国瞬時警報システム)

緊急地震速報、津波警報等、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を、携帯電話等に配信される緊急速報メール、市町村防災行政無線等により、国から住民まで瞬時に伝達。



出典) 総務省「情報通信白書」(2020.8)